

新内閣トノ初連絡會議ニ於テ統帥部ヨリノ要宣事項

昭和十六年七月二十一日
大本營陸軍部
大本營海軍部

内外ノ情勢緊迫シ帝國ノ諸施策進行途上ニ於テ内閣ノ更迭ヲ見タル
ハ其ノ影響極メテ重大ナリト認メアリ然レトモ新内閣力速カニ成立
シタルコトハ寔ニ欣快トスルトコロニシテ大本營陸、海軍部ハ新内
閣ニ對シ強力且誠意アル推進援助ヲ惜シマサルモノナリ
既ニ政府ノ聲明其他ニ依リ政府ノ庶幾スル所ヲ明カニセラレアリト
雖モ此ノ機會ニ於テ統帥部トシテ若干ノ要望ヲ述ヘントス

「現下帝國ノ採ルヘキ國策ノ根幹ニ關シテハ七月二日御前會議決定ノ「情勢ノ推移ニ伴フ帝國國策要綱」ニ明カナル所ニシテ右ニ基ク内外ニ對スル諸施策ハ速カニ之ヲ完遂スルヲ要ス特ニ目下進行中ノ對佛印軍事的措置ニ關シテハ統帥部トシテ既定通り速確ニ宥容及期日共ニ」之ヲ實行スルヲ要スルニ付政府ノ諸施策モ緊密ニ之ニ同調セシメラレ度

「現下ノ緊急事態ニ對應スヘク既に發足進行中ノ對南方及北方戰備ニ關シテハ之カ澁滯遲延ヲ許サス

右ニ關シ政府ハ固ヨリ既定方針ヲ恪守セララルコト確信スルモ此

ノ際重ネテ之カ強力且確實ナル實行ヲ要望致シ度

三日、米國交調整ニ關シテハ他ク迄既定ノ方針ヲ堅持シ特ニ三國樞軸精神ニ背馳セサル如ク其施策ニ遺憾ナキヲ期セラレ度

口頭ニテ發言

「今次政變ノ興ヘタル一般的印象特ニ三國同盟ノ實質的破棄英、米依存ヘノ還元ナルカ如キ感ヲ拘クモノ少ナカラサルニ鑑ミ萬遺憾ナキヲ期セラレ度」

「註」日、米國交調整ノ爲既定方針トハ昭和十六年五月三日及七月十四日野村大使ニ與ヘタル調令ノ精神トス